

平成 30 年 8 月 2 日
気 象 庁

平成 30 年度の熱中症対策関連の取組について

今年度の取組

当庁では期間（4 月第 4 水曜日～10 月第 4 水曜日）を定めて熱中症対策に関する気象情報の提供を行っている。今年度も 4 月 19 日に熱中症ポータルサイトを開設し、天気予報、高温注意情報、高温に関する気象情報、高温に関する異常天候早期警戒情報等の各種情報を提供。

さらに、7 月中旬以降の記録的高温を受け、以下の取組を追加的に実施し、熱中症に関する注意喚起を強化。

- 報道発表（記者会見）の実施
 - 西日本と東日本における 7 月下旬にかけて続く高温について（7/13 14:30）
http://www.jma.go.jp/jma/press/1807/13b/20180713_kouon.html
 - 7 月中旬以降の記録的高温と今後の見通しについて（7/23 17:00）
http://www.jma.go.jp/jma/press/1807/23a/20180723_kouon.html
 - 7 月の天候（8/1 17:00）
<https://www.jma.go.jp/jma/press/1808/01a/tenko1807.html>
- 平成 30 年 7 月豪雨の被災地においては、気象支援資料の提供や JETT（気象庁防災対応支援チーム）による気象解説を地元自治体に対して実施。

今後の取組

- 西日本と東日本における 7 月中旬以降の顕著な高温によって社会経済に大きな影響が出ていることを踏まえ、大学・研究機関等の専門家で構成される異常気象分析検討会（臨時会）を 8 月 10 日に開催し、顕著な高温等の要因について検討・公表予定。
- 2 週間先までの気温予報の提供（平成 31 年 6 月開始予定）により、気象情報の充実を図る予定。

【参考：気象庁が提供する熱中症関連情報】

- 天気予報
当日の最高気温が概ね 30 以上（ ）となることが予想される場合に、天気概況において熱中症に対する注意を呼びかけ。
- 高温注意情報
翌日（地方情報）又は当日（府県情報）の最高気温が概ね 35 （ ）以上になることが予想される場合に発表。
- 高温に関する気象情報
向こう 1 週間で最高気温が概ね 35 （ ）以上になることが予想される場合に、「高温に関する気象情報」を発表。
- 高温に関する異常天候早期警戒情報
5 日～14 日後を対象として、7 日間平均気温が平年よりかなり高い場合に発表される「高温に関する異常天候早期警戒情報」において、7 日間平均気温が概ね 28 （ ）を超える確率が 30%以上と予想される場合に、熱中症に対する注意を呼びかけ。
- その他の情報(上記情報等とともに気象庁HP熱中症ポータルサイトに掲載)
 - 主な地点の気温予測グラフ
 - 最高・最低気温分布予想図
 - アメダスの気温の観測データ
 - 推計気象分布（最新の気温等の分布を、約 1km 四方で 1 時間ごとに提供）
 - ヒートアイランド監視報告（毎年 6～7 月頃公表。大都市におけるヒートアイランド現象の実態及び都市化による気温への影響評価等）

気象庁HP熱中症ポータルサイト：

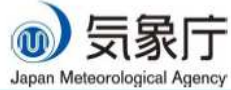
[<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/netsu.html>]

一部の地域では基準が異なる。

記録的な高温に関する報道発表

記録的な高温に関する報道発表及び記者会見を実施し、熱中症など健康管理に対して注意喚起。

- ・平成30年7月13日「西日本と東日本における7月下旬にかけて続く高温について」
- ・平成30年7月23日「7月中旬以降の記録的な高温と今後の見通しについて」



報道発表

平成30年7月13日
気象庁

西日本と東日本における7月下旬にかけて続く高温について

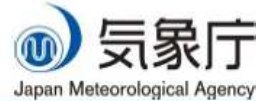
西日本と東日本における7月下旬にかけて続く高温に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせします。

平成30年7月13日14時30分
気象庁

西日本と東日本における7月下旬にかけて続く高温について

- 西日本と東日本では、7月下旬にかけて高温が長く続くおそれがあります。西日本と東日本では、太平洋高気圧におおわれ気温の高い状態が続いています。今後太平洋高気圧は西日本中心に強まり、西日本と東日本では、7月下旬にかけて気温のかなり高い状態が長く続き、最高気温が35度以上の猛暑日が続く所もある見込みです。
- 熱中症など健康管理に十分注意し、水分や適切な塩分補給など心がけてください。
- 特に今回の豪雨の被災地では、熱中症にかかるリスクがより高くなっていますので、できる限りの対策を行ってください。

今後、高温注意情報、高温に関する気象情報、異常天候早期警戒情報などの気象庁が発表する情報に留意してください。



報道発表

平成30年7月23日
気象庁

7月中旬以降の記録的な高温と今後の見通しについて

- 7月中旬以降、東日本と西日本では、太平洋高気圧に覆われて、晴れて気温のかなり高い日が続いています。7月中旬の平均気温は、関東甲信地方は平年差+4.1℃、東海地方は+3.6℃、近畿地方は+3.4℃、中国地方は+3.1℃と1961年の統計開始以来、7月中旬としては最も高くなりました。
- 本日(23日)には、埼玉県の熊谷市で国内の観測史上最高となる41.1℃の気温を記録しました。
- 東日本と西日本では、気温の高い状態は8月上旬にかけて続き、最高気温が35度以上の猛暑日が続く所もある見込みです。
- 熱中症など健康管理に十分注意し、水分や適切な塩分補給など心がけてください。
- 特に今回の豪雨の被災地では、熱中症にかかるリスクがより高くなっていますので、できる限りの対策を行ってください。

2018年（平成30年）7月の天候

北・東・西日本では気温がかなり高かった

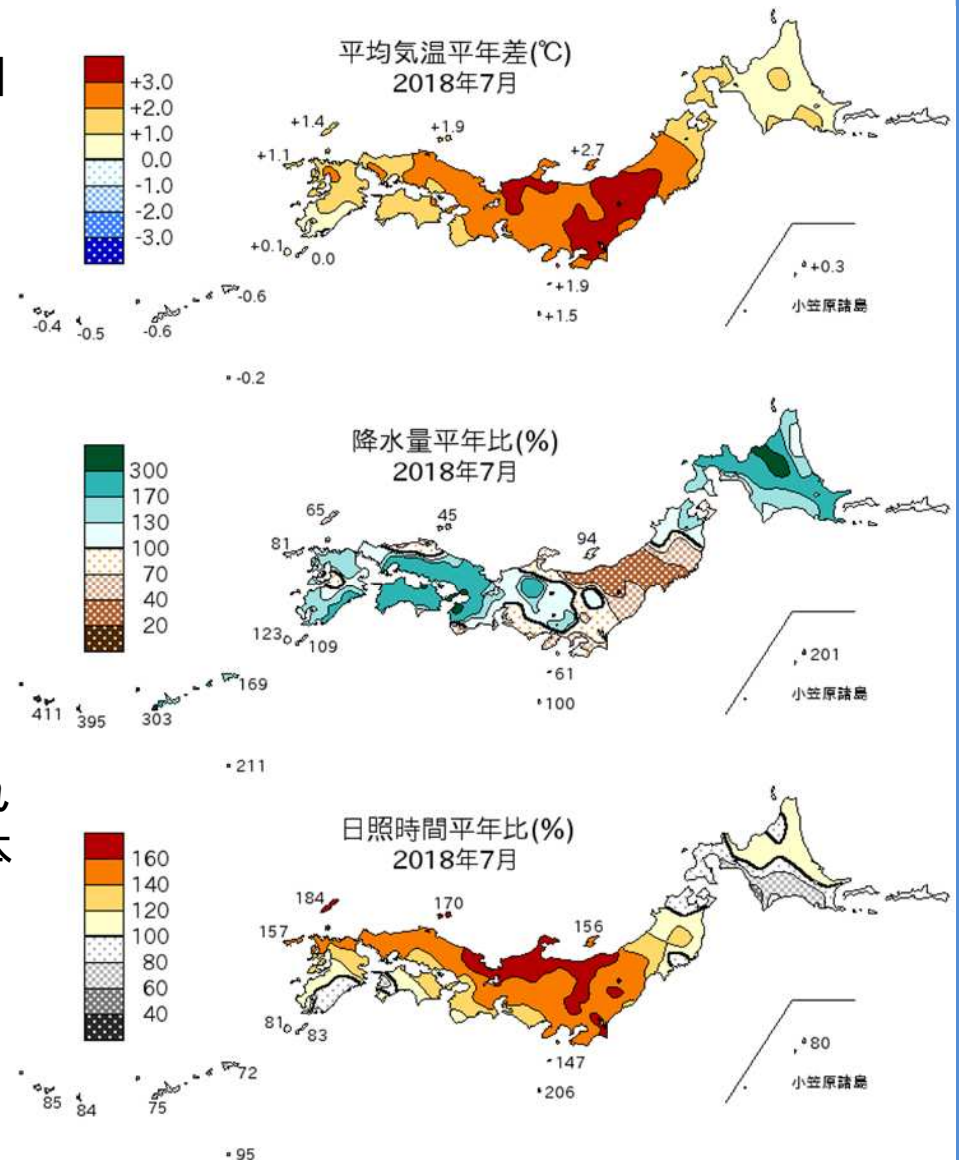
太平洋高気圧の勢力が日本付近で強かったため、北・東・西日本では月平均気温がかなり高く、東日本の月平均気温は平年差+2.8 となり、7月として1946年の統計開始以来第1位、西日本では第2位タイの高温となった。また、23日には熊谷(埼玉県)で日最高気温が41.1 となり、歴代全国1位を更新した。

「平成30年7月豪雨」が発生

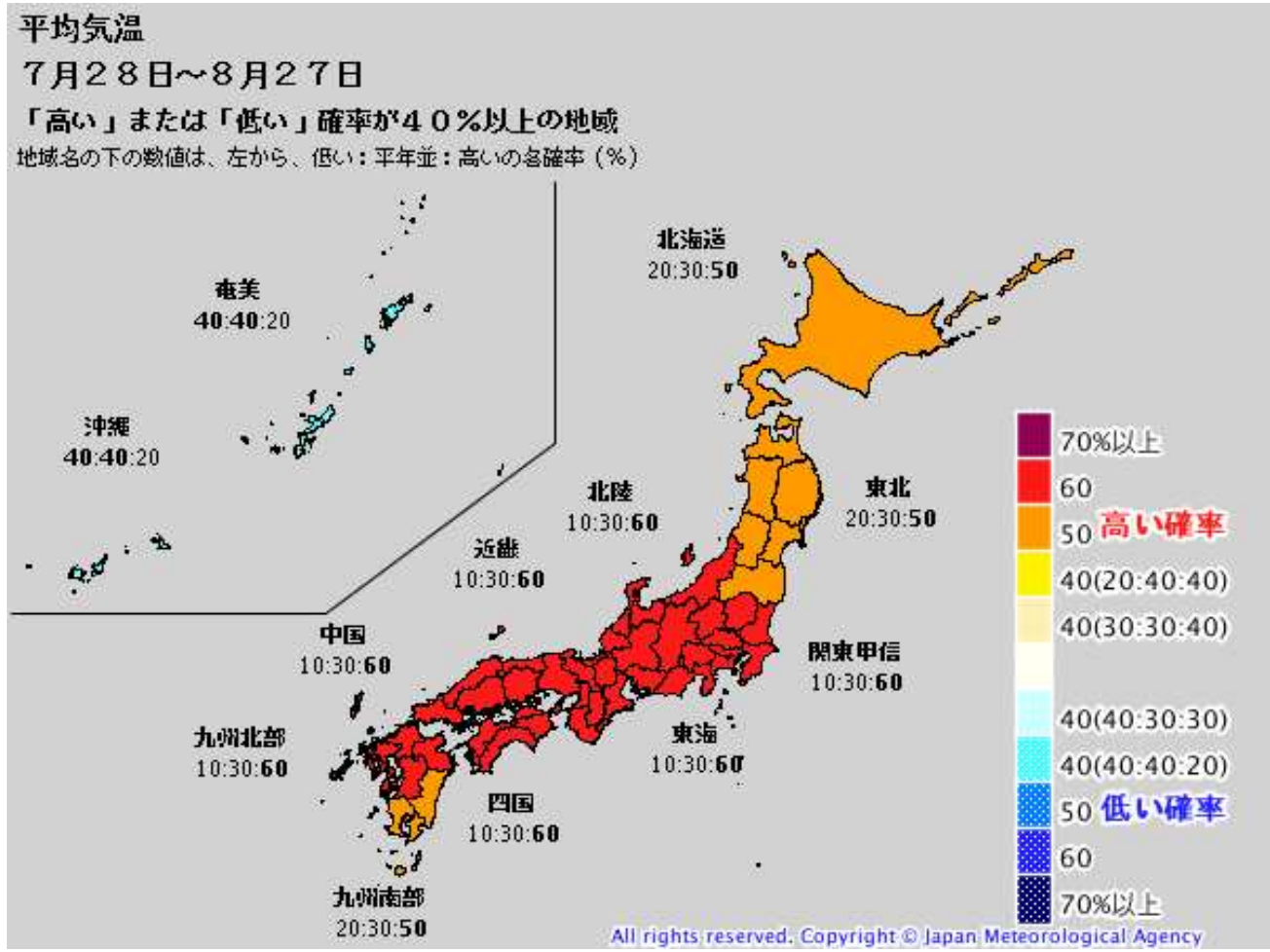
梅雨前線や台風第7号の影響で、西日本を中心に全国的に記録的な大雨となり、「平成30年7月豪雨」が発生した。また、北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美で、月降水量がかなり多かった。

東日本と西日本日本海側では日照時間がかなり多かった

東日本と西日本日本海側では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、月間日照時間はかなり多かった。東日本日本海側の月間日照時間は平年比179%となり、7月として1946年の統計開始以来第1位の多照となった。



- 北・東・西日本は、暖かい空気に覆われやすいため向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温のかなり高い所があるでしょう。また、湿った気流や気圧の谷の影響を受けやすく、東日本を中心に向こう1か月の降水量が多い所がある見込みです。
- 沖縄・奄美は周辺の海面水温が低く、向こう1か月の気温は平年並か低いでしょう。また、高気圧に覆われやすいため向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みです。



天気予報

当日の最高気温が概ね30 以上()となることが予想される場合に、天気概況において熱中症に対する注意を呼びかけ。

天気概況
平成30年 月 日04時41分 前橋地方気象台発表

東日本は、高気圧に覆われています。
関東甲信地方は、おおむね晴れています。

日は、高気圧に覆われますが、午後からは日中の気温の上昇と上空の寒気の影響を受ける見込みです。

このため、群馬県は晴れますが、夜のはじめ頃から雨や雷雨となる所があるでしょう。

なお、群馬県では高温が予想され、熱中症の危険が特に高くなる見込みです。暑さを避け、水分をこまめに補給するなど、十分な対策をとってください。

高温注意情報

翌日(地方情報)又は当日(府県情報)の最高気温が概ね35()以上になることが予想される場合に発表する。

埼玉県高温注意情報 第1号
平成30年 月 日05時10分 熊谷地方気象台発表

埼玉県では、 日の日中は気温が35度以上となる所があるでしょう。熱中症など健康管理に注意してください。

予想最高気温(前日の最高気温)
さいたま 37度(35.6度)
熊谷 38度(36.7度)
秩父 35度(34.2度)

さいたまで30度以上の時間帯は、8時頃から22時頃まで。
熊谷で30度以上の時間帯は、8時頃から23時頃まで。
秩父で30度以上の時間帯は、9時頃から19時頃まで。

熱中症の危険が特に高くなります。

特に、外出時や屋外での作業時、高齢者、乳幼児、体調のすぐれない方がおられるご家庭などにおいては、水分をこまめに補給し多量に汗をかいた場合は塩分も補給する、カーテンで日射を遮る、冷房を適切に利用し室温に留意するなど、熱中症に対して十分な対策をとってください。

高温に関する気象情報

向こう1週間で最高気温が概ね35()以上になることが予想される場合に、「高温に関する気象情報」を発表する。

高温に関する東海地方気象情報 第1号
平成30年 月11日15時05分 名古屋地方気象台発表

東海地方では、13日から18日頃にかけて、最高気温が35度以上となる所があるでしょう。

東海地方では13日から18日頃にかけて、太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温が高くなり、最高気温が35度以上となる所がある見込みです。
熱中症など健康管理、農作物や家畜の管理などに十分注意してください。

高温に関する異常天候早期警戒情報

5日~14日後を対象として、7日間平均気温が平年よりかなり高い場合に発表される「高温に関する異常天候早期警戒情報」において、7日間平均気温が概ね28()を超える確率が30%以上と予想される場合に、熱中症に対する注意を呼びかける。

高温に関する異常天候早期警戒情報(関東甲信地方)
平成30年 月8日14時30分
気象庁 地球環境・海洋部 発表

要早期警戒(気温)
警戒期間 月13日頃からの約1週間
対象地域 関東甲信地方
警戒事項 かなりの高温(7日平均地域平年差+2.2 以上)
確率 30%以上

今回の検討対象期間(月13日から月22日まで)において、関東甲信地方では、月13日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれます。

農作物の管理に注意してください。また、熱中症の危険が高まりますので、健康管理に注意してください。なお、1週間以内に高温が予想される場合には高温に関する気象情報を、翌日、又は当日に高温が予想される場合には高温注意情報を発表しますので、こちらにも留意してください。

【急激な気温上昇が予想される場合には以下のコメントを発表】

農作物の管理に注意してください。また、急激な気温上昇の際は、熱中症にかかりやすくなります。体調に配慮しつつ、気温上昇の前に汗をかく機会を増やすなど暑さに慣れる取り組みをしたり、屋外の活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど、事前の熱中症対策を進め、健康管理に注意してください。なお、1週間以内に高温が予想される場合には高温に関する気象情報を、翌日、又は当日に高温が予想される場合には高温注意情報を発表しますので、こちらにも留意してください。

高温注意情報

高温注意情報

- 全国の都道府県で、毎年4月第4水曜日から10月第4水曜日を対象とした期間に、翌日又は当日の最高気温が概ね35°C(※1)以上になると予想される場合に「高温注意情報」を発表し、熱中症への注意喚起を行います。
- 前日17時過ぎに地方単位の情報を、当日17時過ぎから17時頃まで府県単位の情報を発表します。主な地点の気温予測グラフ(※2)もあわせて掲載します。
- ※1 一部の地域では3°C以上を越えることがあります。
- ※2 気温グラフの情報は、1時間毎の予測気温を5分おきのものです。黄色の帯色相は、気温30°C以上の時間帯とその前後30分の期間を示しています。グラフの縦軸は温度で、横軸は時間ではありません。予測最高気温は1時間毎の気温より高い場合があります。

選択地区

平成30年7月31日の最高気温予想



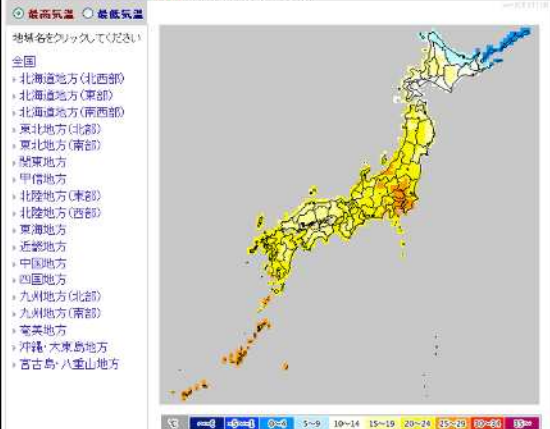
最高・最低気温分布予想図

最高・最低気温分布予想

- この図は、日本全国を100kmの正方形のマス目に分けて、そのマス目の中の気温の予想を表示したものです。海上や予測対象でない地域は斜線で表示しています。
- 毎日朝に当日中の最高気温、11時に当日中の最高気温と翌日朝の最低気温、17時に翌日中の最高気温と翌日朝の最低気温を発表します。18時発表時点の最高気温は前日18時発表のものそのまま表示されます。

全国：日中の最高気温(°C)

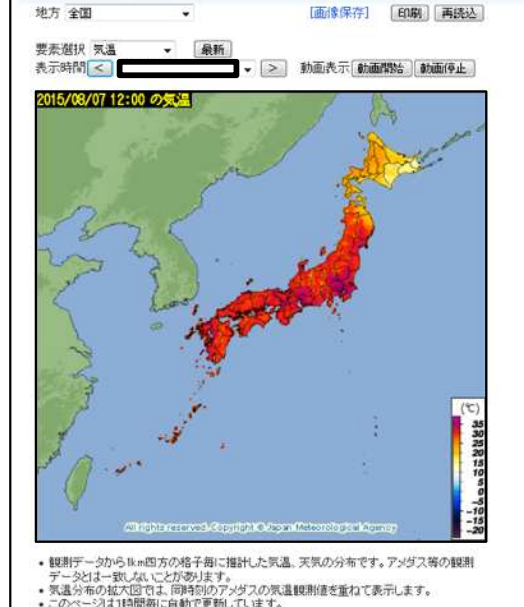
今日：平成28年07月01日の予想



(注) 推計の気温を求める際には、格子周辺の複数の観測地点の気温予想を用いることや、格子平均の標高と観測地点の標高の差による高度補正を行うことなどから、大気予報の気温予想と±1~2°C程度の差が生じる場合があります。

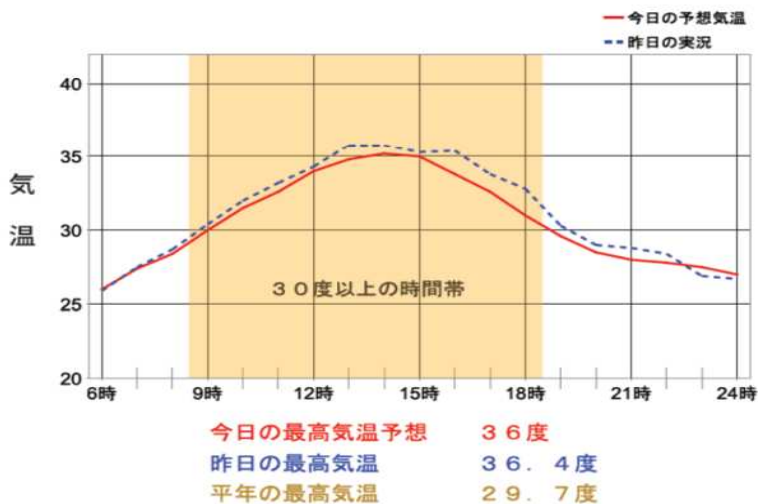
推計気象分布

推計気象分布: 全国



主な地点の気温予測グラフ

気温予想グラフ さいたま (埼玉県) 7月16日 5時



ヒートアイランド監視報告

- 都市化率が大きい地点ほど気温の上昇率が大きい(左図)。
- 都心部から埼玉県南東部で都市化の影響による気温の上昇が明瞭に現れている(右図)。

